

世界のソーシャルワークへの異議申し立て

Indigenization インディジェニゼーション は答えになるのか

グローバル定義 "Indigenous knowledge" の意味

後援：アジア太平洋ソーシャルワーク教育連盟



APASWE
Asian and Pacific Association for Social Work Education

2016年改定された IASSW / IFSW ソーシャルワークのグローバル定義は、そのなかに "Indigenous" という言葉を使う。世界のソーシャルワークにあっては現在いずこに行っても "Indigenization" の語を聞く。日本の参加者は日本における "Indigenous social work" とは何かを考えてほしい。それなくして世界のソーシャルワーク、その世界定義、ソーシャルワークのなんたるかを正しく理解することは不可能であろう。議論をしよう。世界（西洋生まれの専門職ソーシャルワーク）のグローバル化の波に抗して。

日時 2019年12月21日(土) 13:00~

会場 日本ソーシャルワーク教育学校連盟 研修室
(東京都港区港南 4-7-8 都漁連水産会館 6階)

問題提起：淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 (ARIISW)

カナダの理解：ニコル・イヴェス氏 (カナダ マギル大学 教授)

アジアの理解：ベトナム、スリランカ、タイ、モンゴル、ブータン、日本

< 主催・問い合わせ >

淑徳大学アジア国際社会福祉研究所 (ARIISW) 〒260-8701 千葉市中央区大蔵寺町 200
Tel : (043)265-9879 Fax : (043)265-7339 asiainst@soc.shukutoku.ac.jp

お申し込みはこちら ▶

